



AI ガバナンスを学ぶ

AI ガバナンス プラクティショナー資格取得パッケージプラン価格のご紹介

現代において、AIはもはや生活やビジネスに欠かせない存在となりました。しかし、その「正しい活用」や「適切な管理」を体系的に学ぶ機会は、まだ十分とは言えません。

BSIでは、AIに関する多彩な研修プログラムをご用意しており、学習の成果を証明する「BSI資格」の取得も可能です。取得後に付与される「BSI資格マーク」は、名刺やメール署名にご活用いただけるだけでなく、組織内での力量を測る客観的な基準としても高く評価されています。世界トップクラスのISO認証機関であるBSIだからこそ提供できる「世界基準の信頼」を、ご自身の専門性を社内外に証明する強力なツールとして、ぜひご活用ください。



AI ガバナンス プラクティショナー資格マーク

AI ガバナンス プラクティショナー資格を取得するために必要な研修は、以下5研修です。「*」が付いている研修につきましては、オンライン（Zoom）開催のほか、オンデマンド研修（e-learning）のご用意もございます。

研修名	定価 (税込/人)	パッケージ プラン専用 (税込/人)
ISO/IEC 22989:2022 規格解説研修 (AI概念及び用語) (JRCA登録 CPDコース QMS/ISMS) *	88,000円	77,000円
ISO/IEC 42001:2023 要求事項解説研修 (JRCA登録 CPD研修コース ISMS) *	88,000円	77,000円
ISO/IEC 42001:2023 管理策解説研修 (JRCA登録 CPD研修コース ISMS) *	88,000円	77,000円
ISO/IEC 42005に基づくAIシステム影響評価解説研修	88,000円	77,000円
ISO/IEC 23894:2023 AIリスクマネジメントに関するガイダンス解説研修	88,000円	77,000円
研修費用合計	440,000円	385,000円

【研修に関する詳しいお問い合わせ・ご相談はこちらまで】
BSIグループジャパン株式会社 教育事業部 トレーニングアドバイザー
☎ 0120-900-901 ✉ Japan.Training@bsigroup.com
受付時間 平日 9:00-17:00

[研修スケジュール表はこちらから](#)



BSIグループジャパン株式会社について

British Standards Institution- 英国規格協会は最古の国家規格団体として、規格の策定、認証、検証、研修等のソリューションにより世界中の組織の変革を支え、2026年に創立125周年を迎えました。

BS規格と呼ばれるISO規格の前身となる規格を多数開発しております。

例) ISO/IEC 27001 (BS 7799)、ISO 9001 (BS 5750)、ISO 14001 (BS 7750) など

マネジメントシステム/医療機器の認証、製品試験・製品認証、研修、規格書サブスクリプションを主業務とし、規格開発のサポートを含め規格に関する幅広いサービスを提供しています。



AI ガバナンス プラクティショナー資格取得までのステップ

以下5研修の受講完了と各研修の試験の合格が必要です。上から順にご受講されることをお勧めします。

ISO/IEC 22989:2022 規格解説研修 (AI概念及び用語) (JRCA登録CPDコース QMS/ISMS)

ISO/IEC 22989 は、人工知能の概念と用語を定義する国際規格です。標準化された共通言語を習得することで、AI技術におけるステークホルダー間のコミュニケーションの齟齬を解消し、組織内のAIガバナンス構築や責任あるAIの運用をスムーズに進めるための確かな土台を築くことができます。

ISO/IEC 42001:2023 要求事項解説研修 (JRCA登録 CPD研修コース ISMS)

ISO/IEC 42001は、AI（人工知能）に特化した世界初のマネジメントシステム規格です。AI技術が急速に進化し社会に浸透する中、この規格は、組織がその役割（AI製品・サービスの利用、開発、提供など）を効果的かつ責任を持って果たせるよう管理・支援することを目的としています。

ISO/IEC 42001:2023 管理策解説研修 (JRCA登録 CPD研修コース ISMS)

ISO/IEC 42001の附属書A 管理策について学ぶ研修です。ISO/IEC 42001:2023では、AIのリスクマネジメントに必要なと判断される38の管理策を提供しています。本研修では、AIMSの効果的な実施に必要な38の管理策について解説します。各管理策の意図や具体的な適用方法を学ぶことで、抽象的なリスクを実務上の確実な対策へと落とし込むことが可能になります。

上記3研修完了後のご受講をお勧めいたします。 + 以下2研修はどちらを先にご受講いただいても構いません。

ISO/IEC 42005に基づくAIシステム影響評価解説研修

ISO/IEC 42005は、AIシステムが個人、社会、および組織に及ぼす影響を評価（インパクトアセスメント）するための手法とプロセスを定めた規格です。AIを導入・運用することで生じる可能性のある、人権、プライバシー、安全性、公平性といった多面的な影響を体系的に特定・評価し、適切な対策を講じるための具体的な指針を提供します。

ISO/IEC 23894:2023 AIリスクマネジメントに関するガイダンス解説研修

ISO/IEC 23894:2023 は、組織がAIに関連するリスクを効果的に管理するための指針を提供する規格です。リスクマネジメントの国際標準である ISO 31000 をベースにしつつ、AI特有の課題（データのバイアス、不透明性、自律性など）にどう対処すべきかを体系的に示しています。本規格を学ぶことで、ISO/IEC 42001の要求事項である「リスクアセスメント」へのより実践的、かつ詳細な理解につながります。

BSI AI ガバナンス プラクティショナー資格を取得すると、BSI資格証明書および成績証明書（いずれも英語表記）が発行されます。

BSI資格取得後には、お客様専用サイトからBSI資格マークをダウンロードすることができます。ダウンロードしたBSI資格マークは、メール署名や名刺でご活用ください。



AI ガバナンス プラクティショナー資格マーク

【研修に関する詳しいお問い合わせ・ご相談はこちらまで】
BSIグループジャパン株式会社 教育事業部 トレーニングアドバイザー
☎ 0120-900-901 ✉ Japan.Training@bsigroup.com
受付時間 平日 9:00-17:00



[研修スケジュール表はこちらから](#)